

ディプロマ・ポリシー	カリキュラム・ポリシー	アドミッション・ポリシー
<p>武庫川女子大学文学部は、人間存在の本質および人類が創り出した文化全般につき人文諸科学の観点と方法を用いて探究し、その過程と成果を通して、現代から未来にわたる社会の要請にこたえる有為な女性を育成します。以下の資質・能力を身につけたうえで所属する学科において卒業が認定された者に、それぞれの専攻分野の名称を付記した学士の学位を授与します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 独自に課題を発見し、解決に導くために創意工夫して、主体的に実践することができる。 2. 主体的に学ぶ意志と習慣を持ち、論理的に思考する力を身につけている。 3. 幅広い教養に裏付けられた豊かな感性を備えている。 4. 高度の倫理観と使命感に支えられた実践力・指導力を発揮することができる。 5. 専門的知識を修得し、それらを社会の諸方面で実践的に活用することができる。 	<p>武庫川女子大学文学部は、ディプロマ・ポリシーに掲げる資質・能力を身につけた人材を育成するために、体系的かつバランスのとれた教育課程を編成し、学習者の知的好奇心を涵養するとともに主体的積極的な学びを促します。学習者は、「共通教育科目」「基礎教育科目」「専門教育科目」および「特別教育・資格関係科目」にわたって計画的に履修し、1つ1つの科目の学びがもたらす意義を自覚して、知識・技能・判断力を養成します。</p> <p>「基礎教育科目」では専門教育への導入的役割を担う授業を開講します。全学的に実施している「初期演習」は、学生が主体的に学び、実践する姿勢を身につけるとともに、コミュニケーション能力を高め、学生相互の豊かで円滑な人間関係の構築を目指します。そのほかの科目では、専門分野の学びの基礎となる知識を修得し、倫理感を育成する教育を行います。</p> <p>「専門教育科目」ではそれぞれの学科における専門知識を修得し、さらにその知識を体系的に統合して実践的に応用する能力を養います。そうして得られた学識と能力とを駆使して、最終学年では卒業論文に結実させます。</p> <p>教育課程の編成にあたっては、開講学年・配当学期・科目ナンバリングをあらかじめ示すことで科目間の順次性・体系性を確保します。また、開講科目に設定される知識と技術を修得し、その実践的活用を可能にするために、アクティブラーニングなど学習者の能動的学習を促す教育手法を活用します。</p> <p>各科目の学修成果の測定と評価にあたっては、学習者に対してあらかじめ評価指標を明示し、適切かつ公正な評価を実施します。また、卒業論文をもって教育課程を通じた学修成果の総括的評価を行います。</p>	<p>武庫川女子大学文学部は、「立学の精神」とそれに基づく「教育目標」に賛同し、かつ卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）および教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、次に掲げる知識・技能・資質・意欲を備えた女性を求めます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 高等学校までの教育課程を偏りなく修得し、十分な基礎学力を身につけている。 2. 人文諸科学の学修研究に積極的に取り組む姿勢と意欲を持っている。 3. 将来に向けての見通しと目的意識を確立している。 4. 豊かな感性と公平な視点を持ち、考え方の異なる他者とも協同して活動することができる。 <p>また、開設する学科のそれぞれの専門性やディプロマ・ポリシーに掲げる資質・能力を持つ人材像に対応する、透明性の高い公正な入学者の選抜試験を複数の機会および方法で行います。</p>